

短歌の部

鎌足桜保存会会長賞

新緑にそまりし里に濃く淡き鎌足桜つぼみふくらむ

地曳容子

新千葉新聞社社長賞

植樹せし桜の若木伸びやかに春の夕べの風に揺れるる

鈴木早苗

入選 風吹けば淡き花びら散りいそぐ山辺の里の鎌足ざくら

嶋田榮子

入選 里山に鎌の形のめしべもつさくら咲き満つ夕光ゆうかげのなか

日下部扶美子

入選 矢那川の流に春を知る朝を鎌足桜の花ほころびぬ

境 克己

入選 鎌足の里のさくらに吹く風の若葉を揺らし明日へ奔るも

鈴木紫乃

入選 朽ちかけし鎌足桜の祖株おやかぶに萌えし若樹の花舞いかかる

見渡信夫

入選 うつしみの人は去れどもこの村の花はつたへを継ぎて咲くらん

久富とし

入選 由緒ある鎌足桜わが郷に守られ来たり次の世までも

斉藤イチ子

入選 伝説を背負ひて咲ける鎌足桜今日の前にしみじみと見る

齊藤さく

佳作 里山の行く春惜しみあわく咲く鎌足さくらの二段咲きを見し

石川 昇

佳作 この若木満開に咲くその春に幾たび逢はんしばし佇む

櫻村志津子

俳句の部

鎌足桜保存会会長賞

観音の大悲まといて桜満つ

金澤恵子

鎌足地区区長会会長賞

桜見るさくらの風に抱かれて

高橋 富久江

入選 花びらに観音秘めし桜かな

西原千鶴子

入選 桜咲く上総一番札所かな

川俣 婦美子

入選 鎌足のロマンの息吹桜満つ

斉藤 すす子

入選 さくら咲くゆかりは古き高蔵寺

山田 隆士

入選 鎌足の櫻守いて花満つる

泉 志眞子

入選 風も日もやはらに鎌足桜かな

貝原 靖子

入選 鎌足桜優しき色に雨を染め

広上 愛子

入選 千年の伝説秘めし薄さくら

松本 まり

佳作 咲き継ぎて鎌足桜此の村に

八代 保子

佳作 校庭を走る子追う子桜満つ

原 悦子

佳作 薄桃に千年引き継ぐ鎌足桜

古賀 寿昭